



輝いた季節 忘れないでね 蒼いフォトグラフ

書きたいことは山ほどある。しかし、あの素晴らしかった体育祭について、どんな言葉を並べても、皆さんが心と体で感じたその感覚に勝る言葉は見つからないし、むしろ、その記憶を大切にしたいと思うから、敢えて書かない。

ただ、**全力校歌から、担任の先生の胴上げ**につながるあのシーンを、1, 2年生の皆さんは、しっかりと心に刻み込み、この学校の素晴らしさ、可能性を信じてこれからの高校生活を送って欲しいと思います。

3年生の皆さんは、あのシーンを記憶の「心のひきだし」の中に大切にしまっておいてください。これから先、苦しくなった時、きっと支えになってくれるから。

恥ずかしいことばかりの青春も、いつか必ず、光り輝く時がきます。



♪光と影の中で腕を組んでいる
一度破いてテープで貼った蒼いフォトグラフ
みんな重い みえない荷物 肩の上に抱えてたわ
それでも 何故か明るい顔して 歩いてたっけ
写真はセピア色に 褪せる日が来ても
輝いた時 忘れないでね 蒼いフォトグラフ♪



頼まれごとは、試されごと。返事は0.2秒

夢をもつことは、大切なこと。でも、全ての人が夢を実現できるとは限りません。ましてや、私くらいの年齢になって、「夢は何？」と聞かれても、答えるのに躊躇してしまいます。

「頼まれごとは、試されごと。返事は0.2秒。」この言葉は、中村文昭さんという方の言葉で、「人は、その人ができること以上のことは頼んでこないから、何かを頼まれた時は、一つひとつ誠実に答えていきなさい。そうしたら、自分の立ち位置だとか、役割だとか、歩むべき道が、自然に見えてくるから。頼まれたら、とにかく「はい」って返事をしなさい。しかも、0.2秒で。つまり、考えるなということ。考えていたら、失敗したときのことだと

か、できない言い訳ばかりで考えてしまうから。」私はそのように理解しています。

自分はどんな人間で、何ができるのか。自分は何をしたいのか。「自分探しの旅」の真っ直中にいる皆さんにとって、そして、時代や地域が何を求めているのかを考えながら新しい学校をつくっている北高にとっても、心にとめておきたい言葉です。

本校生徒は、この夏休み。たくさんの「頼まれごと」に応えました。

8/5 山口新聞

ボランティア研究会は、今年もたくさんの「頼まれごと」に応えました！



- 24 時間テレビ「愛は地球を救う」の募金活動
- 豊北夏祭り
- 西日本やきとり祭り in 長門
- 小学生の夏休みの宿題のお手伝い
- 梨の選果ボランティア
- 「白滝荘」での清掃ボランティア など

滝部小の児童からの「頼まれごと」にかるた名人石田彩夏さんが応えました。

全国高校総合文化祭代表 石田さん(豊北高2年)と対戦



9/15 毎日新聞

百人一首「強くなりたーい」
滝部小児童作法やコツ学ぶ

野球部は、今年初めて、滝部夜市や梨の選果のボランティアを自ら提案して参加しました。



8/13 読売新聞

野球部員梨の箱詰め



梨をかごに入れる野球部員

北高生になりたい！

夢が丘中学校の松岡校長先生から、大変嬉しいお電話をいただきました。

北高生が中学校の運動会の後片付けを率先して手伝ってくれたとのこと。また、借り物競走などでも、北高生が積極的に協力してくれて、運動会を盛り上げてくれたというお礼のお電話でした。

その姿をみて、きっと、たくさんの中学生が、「北高生になりたい」と思ってくれたことでしょう。

高校生を含め、子どもは地域の宝です。その姿は地域を元気にします。子どもの数が減っていく中、下関市北部で唯一の高校となる下関北高校には、高校生の元気な姿を地域の方々に見せていく役割もあるように思います。

本当に、頼もしい生徒たちです。



※アキラ 100%のネタで自己紹介する佐々木先生・武田先生。安心してください。はいてます。

滝部小からの「陸上競技を専門的に教えて欲しい」という「頼まれごと」に佐々木先生・武田先生、3年生が応えました。



自分のためだけでなく、他の人のためになること、続けていけば、きっといいことあるさ！